

- 問1 鎌倉時代に興った新しい仏教のうち、一遍が開いた時宗において、教えを広めるために全国を巡りながら行った活動として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 法華経こそが正しい教えであると強く主張し、他宗派を批判しながら国家の安泰を祈った。 | 2. 念仏が書かれた札を人々に配り、踊り念仏などを通じて民衆に信仰を広めた。 | 3. 悪人こそが阿弥陀如来の救いの対象であるという考えを説き、農民を中心に教えを広めた。 | 4. 座禅を通じて自分自身で悟りを開くことを説き、鎌倉幕府の保護を受けて寺院を建立した。 |
|--|--|--|--|
- 問2 鎌倉時代に栄西が伝えた臨済宗が、当時の社会や文化に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. ひたすら座禅を組む「只管打坐」を重視し、主に地方の武士や農民の間に広まった。 | 2. 山の中で厳しい修行を行うことを重視し、平安時代の貴族の信仰を集めた。 | 3. 幕府の保護を受けて発展し、のちの茶の湯などの日本文化の形成にも大きな影響を与えた。 | 4. 念仏を唱えれば救われると説き、戦乱で苦しむ民衆の間に急速に浸透した。 |
|---|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問3 鎌倉時代には、新たに政治の実権を握った武士の気風を反映し、力強く素朴な文化が発展しました。この時代を代表する建築物で、平氏による焼き討ちのあとに重源によって再建され、力強い彫刻作品が配置された建物の名称を次の中から選びなさい。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 東大寺南大門 | 3. 鹿苑寺金閣 | 4. 慈照寺銀閣 |
|-----------|-----------|----------|----------|
- 問4 鎌倉時代に親鸞によって開かれた、阿弥陀如来の力を信じて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることで、誰でも極楽浄土に往生できると説いた仏教の宗派を選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| 1. 時宗 | 2. 浄土宗 | 3. 浄土真宗 | 4. 曹洞宗 |
|-------|--------|---------|--------|
- 問5 13世紀後半、モンゴル帝国(元)の皇帝であるフビライ・ハンが日本に対して臣従を求める使節を送ってきましたが、当時の鎌倉幕府はこの要求を拒否しました。その後、二度にわたる大規模な軍事侵攻を受けることになりますが、この危機の際に九州北部の防衛などを指揮した、幕府の最高責任者である執権は誰ですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 北条時宗 | 2. 北条泰時 | 3. 北条政子 | 4. 北条高時 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 鎌倉幕府における将軍と御家人の主従関係の仕組みについて、その特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 土地の支配権の保証と引き換えに、命がけで戦う軍役などの義務を果たす関係であった。 | 2. 寺院や神社に寄進された土地の管理を、将軍が御家人に委託することで成り立つ関係であった。 | 3. 将軍が御家人に毎月一定の貨幣を支給し、御家人が役所での事務作業に従事する関係であった。 | 4. 血縁関係にある一族のみが将軍に従い、他の武士はすべて農民として扱われる関係であった。 |
|---|--|--|---|
- 問7 鎌倉幕府において、将軍と御家人は「御恩」と「奉公」と呼ばれる主従関係で結ばれていました。このうち「奉公」にあたる、御家人が将軍に対して果たすべき義務の内容として正しいものはどれですか。 (2025年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 先祖伝来の領地を安堵されることや、手柄に応じて新たな土地と与えられること | 2. 京都や鎌倉の警護にあたることや、合戦の際に軍役を果たすこと | 3. 幕府の許可なく城を修理しないことや、婚姻の際に届け出を出すこと | 4. 武士の守るべき道として、質素倏約に努め、文武両道を励むこと |
|---|----------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
- 問8 13世紀後半の歴史年表において、「文永の役がおこる」と記される時期に、モンゴル帝国の第5代皇帝として国号を「元」と定め、日本への大規模な遠征を主導した人物は誰か、名称を答えなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 1. チンギス・ハン | 2. オゴタイ・ハン | 3. ティムール | 4. フビライ・ハン |
|------------|------------|----------|------------|
- 問9 紀伊国の阿比河荘(あてがわのしょう)という荘園では、地頭が農民を不当に働かせたり、年貢を横領したりといった横暴を働いていました。これに苦しんだ農民たちは、自分たちの窮状を訴える文書を「土地の本来の持ち主」へ送りました。この訴えの宛先となった、当時の土地支配の中心的な勢力として正しいものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 将軍や執権 | 2. 管領や大老 | 3. 守護や地頭 | 4. 貴族や寺社 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問10 13世紀のモンゴル帝国の支配が、その後の東西交流に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. キリスト教以外の宗教を厳しく禁じたため、ヨーロッパからアジアへ向かう商人の活動が制限された。 | 2. 駅伝制の整備などによって広大な領土内の交通網が確保され、人々の往来や文化の交流が盛んになった。 | 3. 北アフリカまでの全域を完全に支配下に置き、地中海貿易を独占することで、東ヨーロッパとの交流を遮断した。 | 4. 12世紀のうちにモンゴル高原へ領土を縮小させたため、ヨーロッパとの直接的な文化接触は失われた。 |
|---|--|--|--|
- 問11 鎌倉幕府が成立した1192年から、室町幕府が成立するまでの期間において、1232年に制定された御成敗式目の特徴として正しいものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| 1. 元寇の後の社会不安を解消するために、幕府が徳政令を出す根拠となった法典である。 | 2. 天皇や公家の生活を制限し、幕府が朝廷を監視するために定められた法典である。 | 3. 聖徳太子が制定した、役人の心得を説くための日本で最初の成文法である。 | 4. 武士社会の慣習や道徳に基づき、武士のために初めて作られた独自の法典である。 |
|--|--|---------------------------------------|--|
- 問12 鎌倉時代から西日本を中心に広まった農業技術について述べた文章において、同一の農地を利用し、夏には米を、その収穫が終わった後の冬の時期には麦などの異なる作物を栽培する農業形態を何と呼びますか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 二期作 | 2. 輪作 | 3. 二毛作 | 4. 三毛作 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問13 鎌倉幕府の「御恩」と「奉公」という仕組みにおいて、その関係性の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 朝廷が認めた貴族の領地を将軍が奪い、その土地を御家人に平等に分配して耕作させるといふ、共同体的な関係。 | 2. 御家人が自らの意志で土地を将軍に献上し、その代償として将軍が御家人を官位に任命するといふ、名譽に基づいた関係。 | 3. 将軍が御家人の領地を保証する代わりに、御家人が軍役などの義務を果たすといふ、土地を仲立ちとした双方向の関係。 | 4. 将軍がすべての土地を直轄地とし、御家人がそこから得られる年貢を徴収して将軍に納めるといふ、一方的な従属関係。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 念仏が書かれた札を人々に配り、踊り念仏などを通じて民衆に信仰を広めた。	鎌倉時代に一遍によって開かれた時宗は、特定の寺院にとどまらず全国を巡り歩く「遊行（ゆぎょう）」というスタイルが特徴です。一遍は「南無阿弥陀仏」と記した札を人々に配る「賦算（ふさん）」を行い、さらに太鼓などを叩いて踊りながら念仏を唱える「踊り念仏」によって、文字の読めない庶民層にも分かりやすく教えを広めました。他の選択肢は、座禅が栄西や道元、法華経が日蓮、悪人正機が親鸞に関連する内容です。
問2	答え 3 幕府の保護を受けて発展し、のちの茶の湯などの日本文化の形成にも大きな影響を与えた。	臨済宗は師徒の問答を重視するスタイルが武士の気風に合ったため、幕府の有力な支援を得て寺院が整備されました。栄西が持ち帰った茶の文化は、のちに禅の精神と結びつくことで、室町時代の東山文化における茶の湯の発展など、日本の伝統文化の重要な基盤となりました。
問3	答え 2 東大寺南大門	鎌倉時代、源平合戦の際に焼失した東大寺の復興が進められました。その代表的な建築が東大寺南大門です。これに対し、金閣は室町時代の北山文化、銀閣は同じく室町時代の東山文化、平等院鳳凰堂は平安時代の国風文化を代表する建築物です。
問4	答え 3 浄土真宗	親鸞は法然の弟子であり、師が説いた「専修念仏」の教えをさらに深めて浄土真宗を確立しました。この教えは、自分自身の修行の力（自力）ではなく、阿弥陀如来の力（他力）に頼ることで救われるというもので、当時の農民など庶民の間に爆発的に広がりました。
問5	答え 1 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった人物に関する問題です。1274年の文永の役、1281年の弘安の役という二度の元寇（モンゴル襲来）に際し、フビライ・ハンの要求を退けて防衛体制を整えました。北条泰時は御成敗式目を定めた第3代執権、北条高時は幕府滅亡時の執権であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 土地の支配権の保証と引き換えに、命がけで戦う軍役などの義務を果たす関係であった。	鎌倉時代の主従関係は、土地を通じたギブ・アンド・テイクの関係です。将軍が御家人の土地支配を保証する「御恩」に対し、御家人は「いざ鎌倉」という言葉に象徴されるように、有事の際の軍役や、京都・鎌倉の警備（番役）といった「奉公」で応えました。このような土地を媒介とした主従関係を封建制度の特徴として捉えることができます。
問7	答え 2 京都や鎌倉の警護にあたることや、合戦の際に軍役を果たすこと	鎌倉時代の主従関係は、将軍が御家人の所領を保証したり新恩を与えたりする「御恩」と、それに対して御家人が京都・鎌倉の警護（番役）や有事の際の軍役を果たす「奉公」という双務的な関係で成り立っていました。他の選択肢にある土地の保証は「御恩」の説明であり、城の修理制限などは江戸時代の武家諸法度の内容です。
問8	答え 4 フビライ・ハン	モンゴル帝国を建国したチンギス・ハンの孫にあたる人物です。都を大都（現在の北京）に移して国号を元とし、東アジア全域を支配下に置こうとしました。日本に対しても服属を求めましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、1274年の文永の役、1281年の弘安の役という2度の遠征（元寇）を行いました。
問9	答え 4 貴族や寺社	鎌倉時代の地方の土地（荘園）は、法的には京都の貴族や大きな寺社が「荘園領主」として所有していました。幕府から派遣された武士である地頭が農民に対して不当な要求を行った際、農民たちは「本来の主人」である荘園領主に助けを求めるため、訴状を送って抗議しました。阿氏河荘の百姓訴状はその代表的な事例です。
問10	答え 2 駅伝制の整備などによって広大な領土内の交通網が確保され、人々の往来や文化の交流が盛んになった。	モンゴル帝国は広大な領土に「ジャムチ（駅伝制）」と呼ばれる交通網を整備しました。これにより、通行の安全が確保され、イタリアの商人マルコ・ポーロのようにアジアとヨーロッパを往来する者が現れるなど、人・物・文化の交流が促進されました。領土は東ヨーロッパまで及びましたが、北アフリカまでは到達していません。
問11	答え 4 武士社会の慣習や道徳に基づき、武士のために初めて作られた独自の法典である。	御成敗式目は、奈良時代に唐の法律を模範として作られた律令とは異なり、源頼朝以来の武士社会の慣習や道理に基づいた、日本独自の武家法として初めて成文化されたものです。制定当時の時代背景としては、承久の乱から蒙古襲来（元寇）までの安定期にあたります。聖徳太子が定めたのは十七条の憲法であり、朝廷を制限するのは江戸時代の禁中並公家諸法度であるため、時期や内容を区別する必要があります。
問12	答え 3 二毛作	鎌倉時代には、牛馬による耕作や、刈藁・草木灰といった肥料の使用が普及したことで、土地の生産性が向上しました。これにより、同じ耕地を休ませることなく、夏と冬で異なる作物を育てる工夫が生まれました。主に夏に米、冬に麦を栽培する形態を指します。
問13	答え 3 将軍が御家人の領地を保証する代わりに、御家人が軍役などの義務を果たすという、土地を仲立ちとした双方向の関係。	鎌倉時代の主従関係は、単なる精神的な忠誠心だけでなく、「土地」という具体的な利益を介した契約的な性格を持っていました。将軍が御家人の領地（私有地）の所有権を公的に認める「御恩」があるからこそ、御家人は命をかけて戦う「奉公」を行うという、互恵的な仕組みが成立していました。これを封建制度と呼びます。